

2014 年版「敬老の日」にあわせたシニアの意識調査

<Part1> 65 歳以上の意識は変わった？ 2013 年調査との比較

～「認知年齢」は若返り傾向へ！シニア向け割引は引き続き「ちゃっかり利用♪」～

シニアマーケットの専門機関である株式会社シニアコムは、2014 年 9 月に 50 歳以上の男女に対して、「敬老の日と年齢に関するアンケート」と題した調査を実施しました。

- 調査手法：WEB アンケート調査
- 対象者：50 歳以上の男女個人（シニアコム MASTER 会員）
- 有効回答数 1,115 人（男性 743 人 女性 372 人）

この調査は 2011 年、2013 年にも 65 歳以上を対象に実施したもので、2014 年にも同様に「敬老の日」を向かえるタイミングで、年齢に対する意識やシニア/シルバー向けのサービス・割引の利用状況などを聴取しました。

このリリース<Part1>では、65 歳以上の調査結果を抜粋し、2013 年調査との比較をメインに、いくつかの項目をご紹介します。

《調査結果サマリー》

- 世間一般に高齢者とされる 65 歳以上の方の「認知年齢」(気持ちの上で自身が認識する年齢)を聴取したところ、80%以上が実年齢より若いと回答しており、特に 75 歳以上の「11～15 歳」若いという回答が、2013 年調査より 2 倍近く増えており、高齢になるほど、「認知年齢」と実年齢のギャップ、若返りの傾向が増していることが分かりました。
- 年齢に関するものとして「シニア/シルバー向けの割引」(65 歳以上向けの割引など)にフォーカスすると、全体の 7 割以上が能動的に利用する結果となり、これは 2013 年、2014 年調査ともに、状況によっては実年齢を受け入れて、メリットのある割引を選ぶ“ちゃっかり利用”は継続していることがわかりました。
- 電車やバスで年配者だと思われて席を譲られたケースでは、まだ自身が若い意識から、座席を譲られることにショックを受ける、というのが「64-75 歳」が顕著でしたが、2014 年調査では「75 歳以上」でも戸惑いを感じているという意見が多数あり、ここでも「認知年齢」の若返りが見てとれました。とはいえ、優先座席の利用機会は微増しており、利用できるものは受け入れて“ちゃっかり”利用するという傾向が見てとれました。

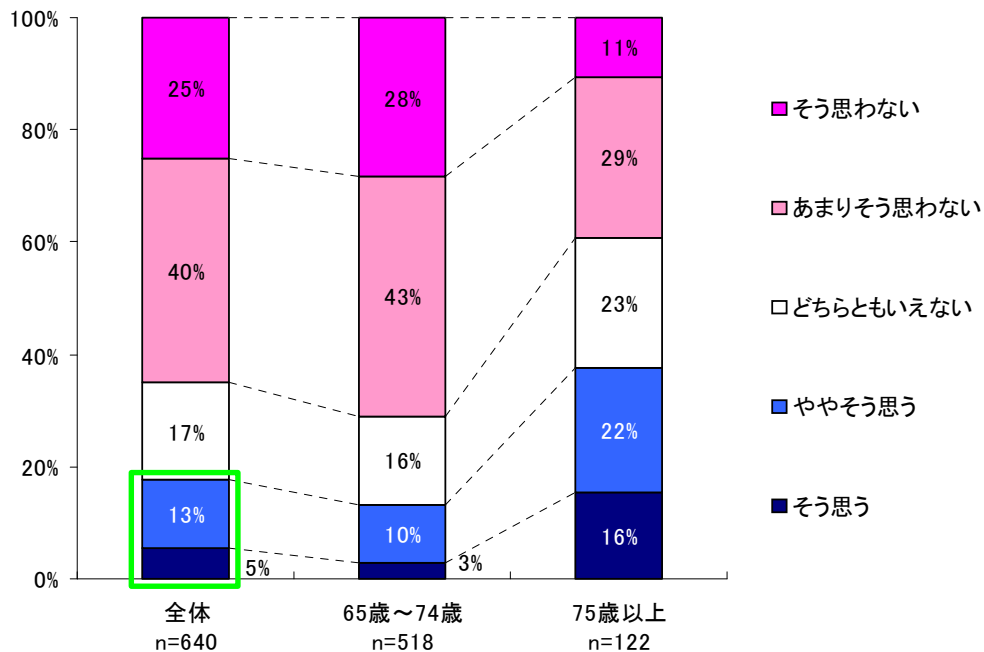
■「敬老の日」が自分達向けだと思う65歳以上は18%に微増

まず調査では65歳以上のシニアに、「敬老の日が自分達向けの日だと思うか」と聴取したところ、「そう思う/ややそう思う」と答えた割合は**全体の18%**となりました。

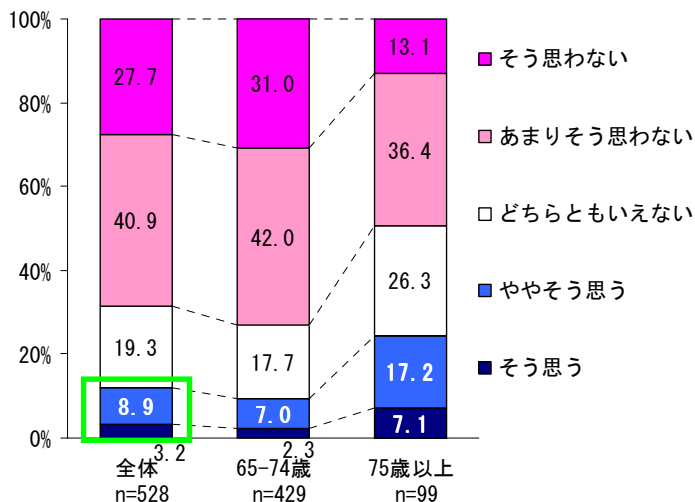
2011年には11.8%、2013年には12.1%であったのに対して、2014年調査では「自分達向けの日だと思う」人が18%と微増したことがわかります。

特に、75歳以上においては、「そう思う/ややそう思う」が全体の38%に達し、2011年、2013年に比べて、増加が顕著に現れています。

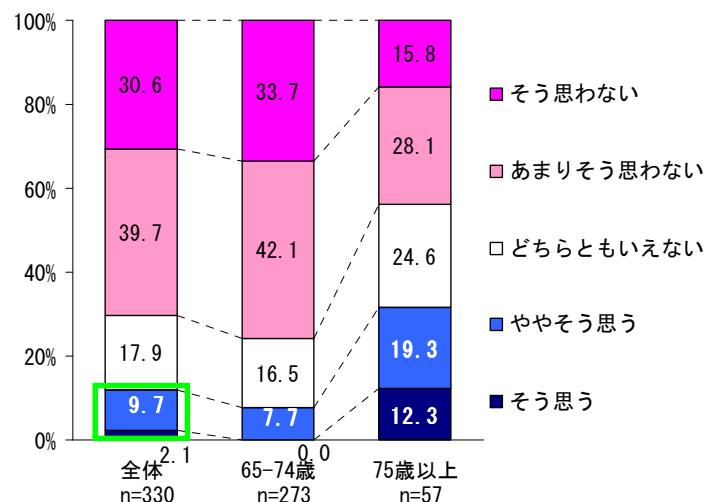
「敬老の日」が自分達向けの日だと思いますか：2014年調査



「敬老の日」が自分達向けの日だと思いますか：2013年調査



「敬老の日」が自分達向けの日だと思いますか：2011年調査



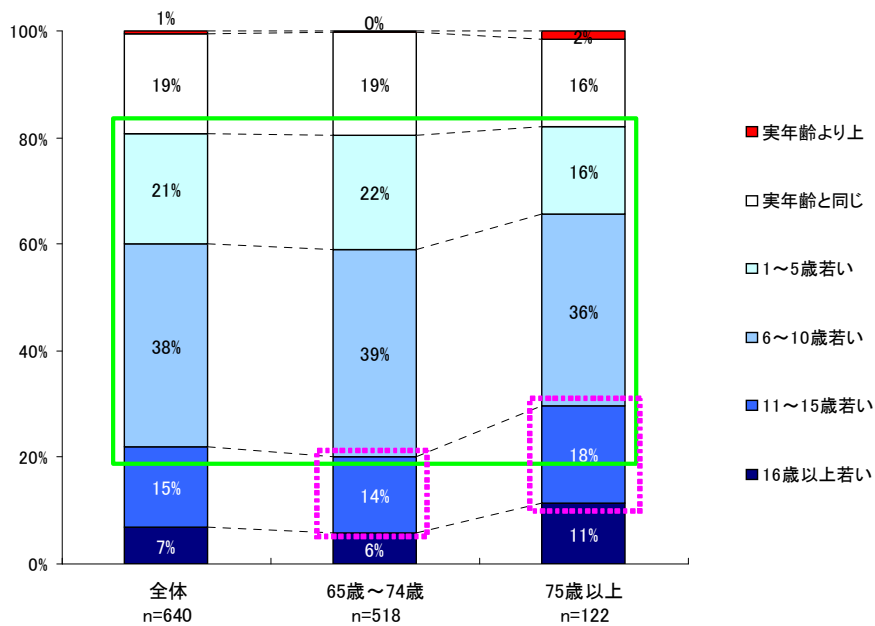
■「認知年齢」の若さ、高齢になるほど「若返り」の傾向が

前頁にて、「敬老の日が自分達向けの日だと思うか」という聴取に対し、18%が「そう思う/ややそう思う」と答えたのに対し、65%は「そう思わない/あまりそう思わない」と答えています。このように、65歳以上のいわゆるシニアが自分達のことを高齢者（老人）だと意識しないことの1つの背景要因として、「実年齢」と「認知年齢＝気持ちの上で自身が認識している年齢」のギャップが挙げられます。

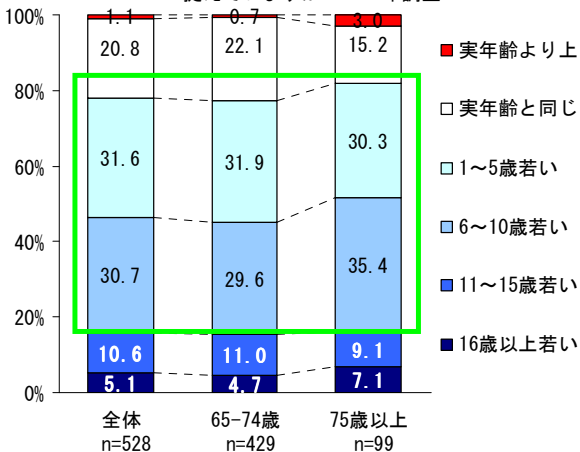
アンケートで自身の「認知年齢」を聴取すると、**80%以上が実年齢より若い**という回答を占める結果となりました。

いずれの年齢層でも「1～5歳/6～10歳/11～15歳若い」がほぼボリュームゾーンとなりますが、2011年、2013年と比べて、「1～5歳若い」の割合が減り、「11～15歳若い」の割合が増えており、特に75歳以上では2013年の2倍近く増えています。この結果より、**高齢になるほど認知年齢の若返り傾向が増している**ことが分かります。

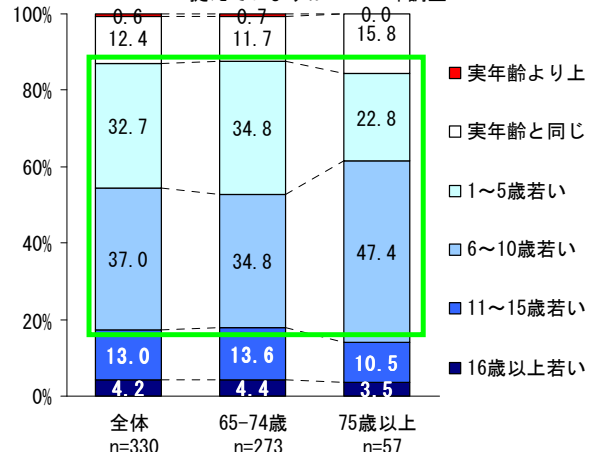
実年齢とは別に、気持ちの上ではご自身のことを何歳ぐらいと捉えていますか：2014年調査



実年齢とは別に、気持ちの上ではご自身のことを何歳ぐらいと捉えていますか：2013年調査



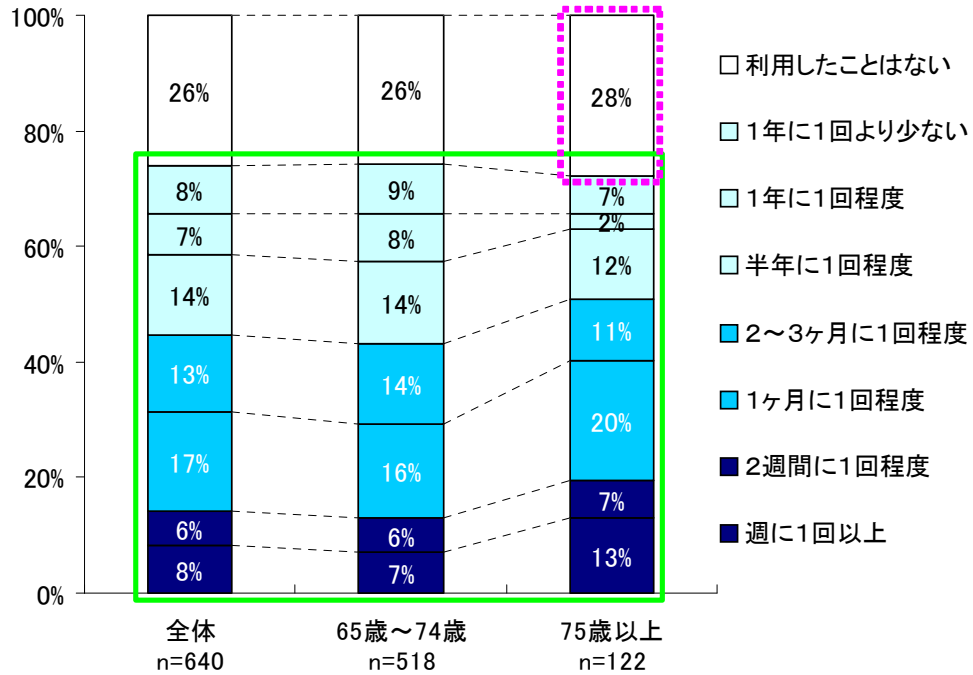
実年齢とは別に、気持ちの上ではご自身のことを何歳ぐらいと捉えていますか：2011年調査



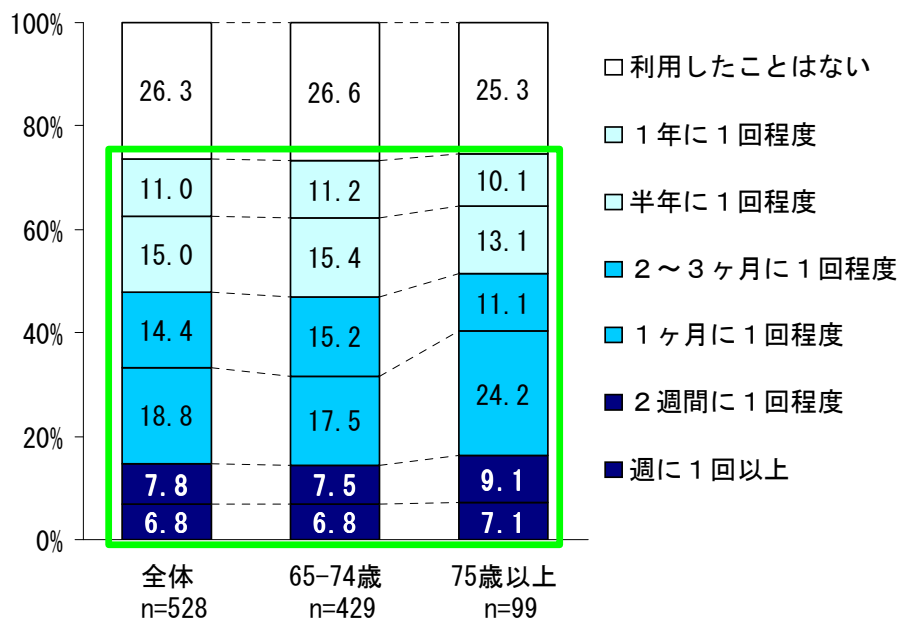
■若いと認識している一方、「シニア/シルバー向けの割引サービス」は利用する

アンケートでは、65歳以上向けの割引など「シニア/シルバー向けの割引」を能動的に利用する頻度を聴取したところ、2013年と同様に全体の7割以上が利用する結果となりました。ただ、2014年調査では、75歳以上では、「利用したことはない」という回答が微増しており、高齢になるほど「認知年齢」の若返り傾向が、ここでも少し見てとれます。

普段、「シニア/シルバー向けの割引」をどの程度
利用しますか：2014年調査

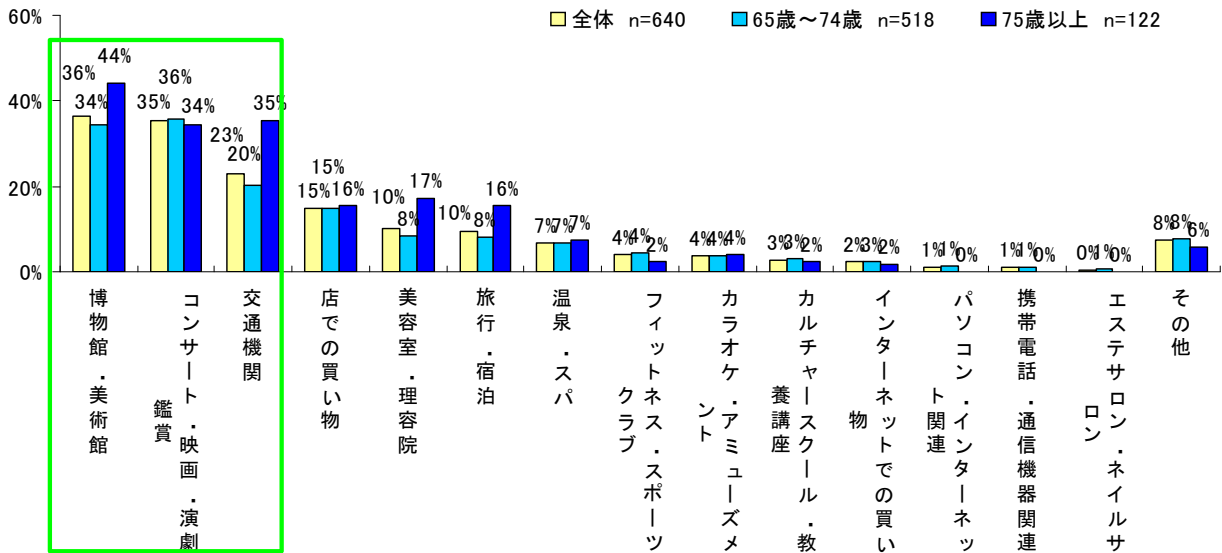


普段、「シニア/シルバー向けの割引」をどの程度
利用しますか：2013年調査

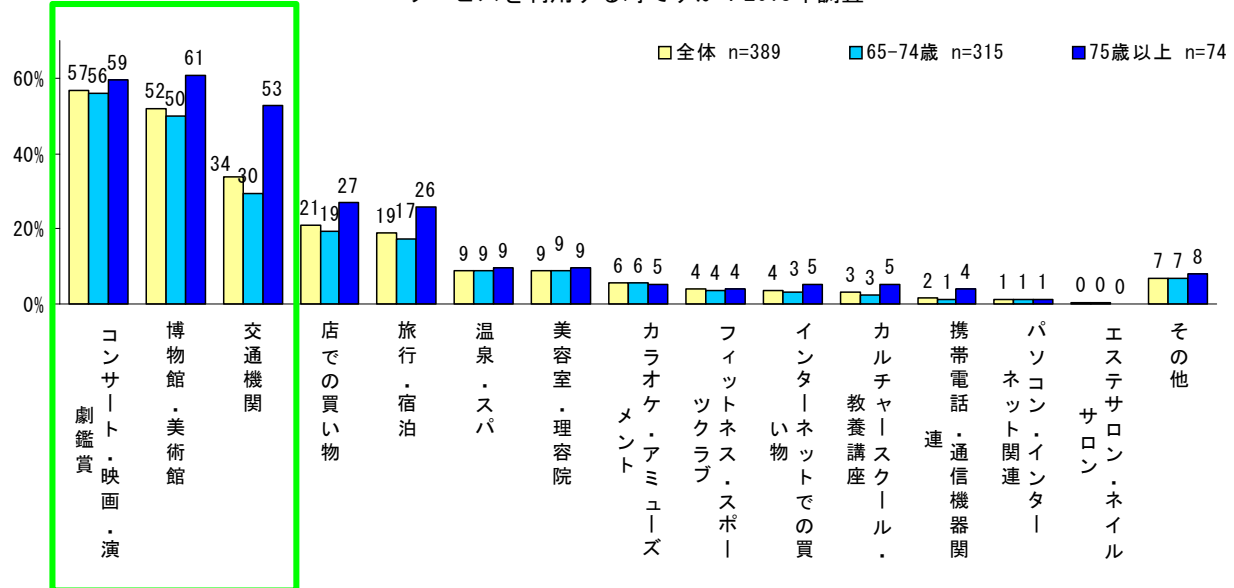


さらにこの割引を利用する方に、「シニア/シルバー向けの割引」を利用する商材やサービスを聴取した結果、「博物館・美術館/コンサート・映画・演劇鑑賞/交通機関」が上位に挙がりました。

「シニア/シルバー向けの割引」を利用するのは、どのような商材やサービスを利用する時ですか:2014年調査



「シニア/シルバー向けの割引」を利用するのは、どのような商材やサービスを利用する時ですか:2013年調査

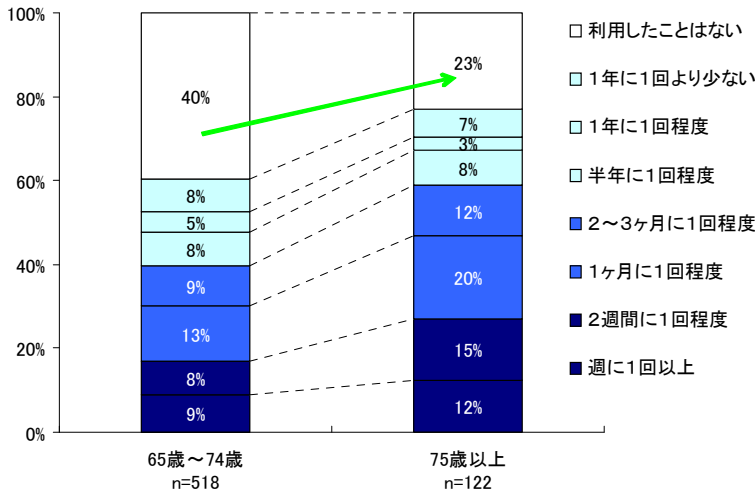


- 2013年と比べると、順位に大きな変化はありませんが、2014年調査では、上位3項目についての使用する割合が10~20%程度低くなっていることがわかります。ただ、利用していると回答した人数としては、2013年と同程度となっており、年々、各メディアなどでも「シニア/シルバー向けの割引」商材やサービスなどを目にする機会が増え、一度利用した人は継続して有効に利用しているものの、まだまだ「知らない」で利用していない人も潜在的にいないのではないかと想像できます。

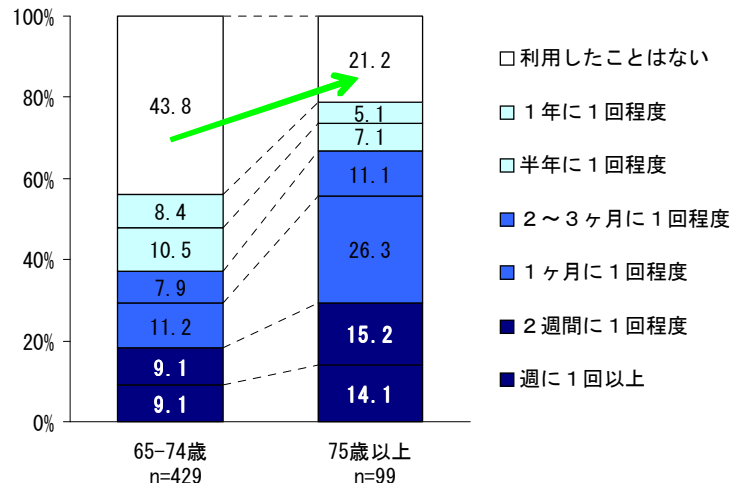
■75歳から「優先座席」の利用機会と座席を譲られる経験が増え、65-74歳だけでなく、75歳以上になっても席を譲られることに戸惑いが見られる

年齢に関するものとして、バスや電車の「優先座席」のように高齢者の優先席を能動的に利用する頻度と、自身が年配者と捉えられて席を譲られた経験を聴取したところ、**75歳以上になると利用頻度と経験率が高まる**傾向が見られました。

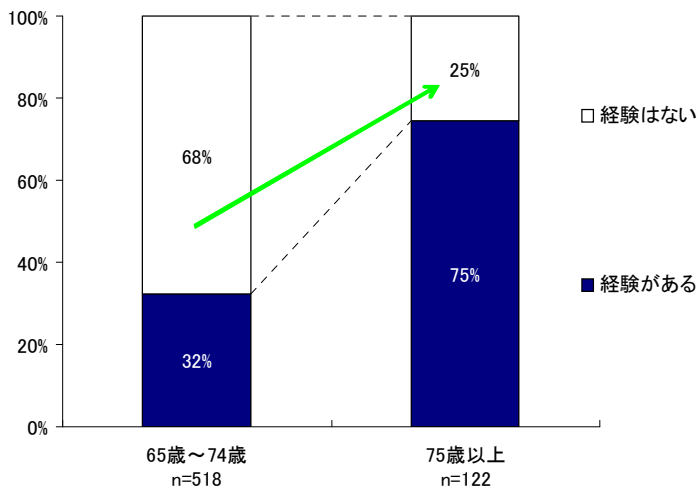
高齢者や体の不自由な方、妊婦、乳幼児連れの方などのための「優先座席」をどの程度利用しますか
(能動的に利用する頻度):2014年調査



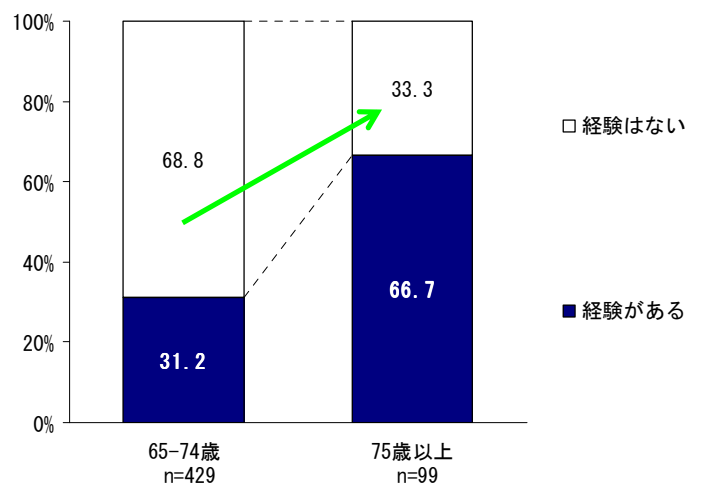
「シルバー向けの座席」をどの程度利用しますか
(能動的に利用する頻度):2013年調査



バスや電車などを利用する際に、あなた自身が高齢者と捉えられて、席を譲られた経験がありますか:2014年調査



バスや電車などを利用する際に、あなた自身が年配者と捉えられて、席を譲られた経験がありますか:2013年調査



・2013年と比べて、2014年調査では、65歳以上の方全体で「優先座席」の利用頻度は微増しています。また、75歳以上で、「席を譲られた経験がある」が8%以上増えているところからも、「優先座席」を利用する機会は増えているものと考えられます。

・これまでの設問から、自身では「認知年齢」を若く捉えているものの、「優先座席」を譲られた経験は増え、また利用する機会も増えていることで、自身の意識と、周囲の目にギャップがあることを感じていながらも、受け入れて利用できるものは“ちゃっかり”利用するといった傾向が昨年同様に見てとれました。

さらに座席を譲られた経験がある方にその時の印象・感想を自由回答にて聴取したところ、昨年に比べて 65-74 歳だけでなく、75 歳以上においても、戸惑いを感じている感想が増え、まだまだ「認知年齢」が若いことがわかります。

《65-74 歳のコメント抜粋》

回答ID	性別	年齢	バスや電車などで、あなた自身が席を譲られた際に、どのような印象・感想を持ちましたか。
112	女性	65	ありがたいが年寄りに見られたことにつかりした
1143	女性	65	自分では若いつもりだが他人から見れば高齢者なんだなと思った。
481	女性	66	え～！私？そんな年代に、見えるのかしら。と思いながらも、素直に、座らせてもらう。
997	男性	66	一瞬、自分のことだとわからないことがある。 若い人にも気配りができる者がいるのを見るのは嬉しい。
1119	女性	66	相手の方に感謝し、助けたい様に見えていた自身に注意を使用と思った
576	女性	67	えー、ついに来たかー。
768	男性	67	その時は、疲れた顔していたのでしょうか
885	女性	67	踵が痛かったので、嬉しかった
398	女性	68	そんな～ すぐにお断りしました。
848	男性	68	譲られる年齢ではないと思っているので、少しムカツク。実際、声はかけられたが、断った。
904	女性	68	複雑 頭が真っ白(白髪を染めていない)だからかなと思いき以来帽子を欠かさない
169	男性	69	バスに乗り込んで行ったら大学生風の男性がどうぞと立ち上がってくれた。ごく普通にありがとうといって座らせてもらった
405	女性	69	外見でも十分シニアなんだなと
411	男性	70	感謝の気持ちと老人に見られているという残念な気持ちが半々
968	男性	70	疲れているときに若い人から気軽に座席を譲られた時は、嬉しいし好感が持てる。一方、シニア優先席で不貞寝している若者やカップルを見ると不快感が起きる。
1026	男性	70	妻と同伴で電車に乗るとすぐに近くの男子高校生が自分たちはすぐ降りますといって席を譲ってくれたが結果、小生たちと同じ駅で降りた。すぐ追いかけ、再度お礼を言ったが1日すがすがしい気持ちで過ごすことができた。
833	男性	71	自分より若い人が座っていると立っただけか席を譲ってくれた。その時あゝ俺は70過ぎてんだと思って素直にお礼を言って座った。
82	男性	72	譲って頂かなくても結構と思いますが、断らずに譲って頂き、すわりました。 譲ってもらわなくてよいと思っておりました。
290	女性	72	年齢の為ではないが、足が悪く杖を使用しているので譲られると有難く、素直に感謝して座らせていただいています。
496	男性	72	私自身は電車で1時間ぐらい立っているのは平気です。ただ、こちらの年恰好を見た方が席を譲られた場合は、その方のご厚意を無にしないために有難く座らせて貰います。ただし、降りる駅が近い場合、立って外の景色を見ていたい場合などは、譲られないようにする素振り、テクニックも必要です。
1129	男性	72	滅多にないが、譲られた時は素直に「ありがとう」戸感謝の言葉をかけて代わってもらった。ただ、実際には優先席を占拠して、スマホに熱中する若者が多く、何のための優先席かと思う。70歳を過ぎた私でも、妊婦さんには席を譲ることもあるのに。
498	女性	73	若い女性から譲られることがあります。ご厚意に感謝して座るようにしています。若い男性から譲られるということはまだ経験していません。シルバーシートに座って堂々とゲームをしている若者にはちょっとどうかと思う時もあります。
1197	女性	73	お断りすれば、勇気を出して譲られた人に悪いと思うので、素直にお礼を言って譲ってもらい、先に降りる時はもう一度その方にお礼を言って降ります。
92	女性	74	よほど疲れていたのでしょうか、はじめてのことで驚きました。恥ずかしかった。
313	男性	74	自分もそういう歳になったのかと感慨深いものがあった。
921	男性	74	疲れていたのか歳相応に見えたのかなと、ややショックだったが嬉しかった。

《75歳以上のコメント抜粋》

回答ID	性別	年齢	バスや電車などで、あなた自身が席を譲られた際に、どのような印象・感想を持ちましたか。
516	女性	75	エスカレーターもエレベーターも使わないのでほんとは立っていたいけど譲ってくれた人に敬意を表して素直に座る。
1202	男性	75	若い女性から席を譲られ、少し恥ずかしく思ったが、非常に嬉しかった
234	男性	76	自分では若いつもりだったのと思った
1023	男性	76	以前は丁重にお断りしていたが最近は素直にお礼を言ってご厚意に甘えることにしている
1113	男性	76	その時の言葉のかけられ方で、印象が随分と変わります。若い方から笑顔でどうぞと自然体で声をかけられたときは、素直にありがとうございますと言ってかけることができます。
1134	男性	76	時と場合によりありがたく受ける。 自分より先輩？の様な方や、譲る必要がある場合は譲る事も多い。
793	男性	77	明らかに「老人」扱いされているな、と。
1127	男性	77	一旦、断りますが、20代の女性などから、毅然として譲られた時などは、鄭重にお礼を申し上げ、ありがたく座らせて戴きます。
827	男性	78	譲ってくれた人が余りにタイミング良く立ってくれたので、それにつられて席に座った。初めてで、内心は複雑な気持ちでした。
879	男性	78	年齢的には、譲られることは理解できるが、自分自身としては、不要と勘じるのがまある。 もちろん、ありがたいと感じる時もある。
167	男性	79	そのような老人と判断されたことにつかりした。
422	女性	79	まだ衰えていないので 嬉しくない
752	男性	79	好意を喜んでお受けしています。 但し、自分より席を必要としている人がいれば その人にお譲りしたり、自分の席も空けることも多いですね。
316	男性	80	60代の半ばころ、初めて席を譲られたときはびっくりして辞退したが、70を過ぎたころから好意を素直に受け取れるようになった。
876	男性	80	「ありがとう」と素直に好意を受けたが、「白髪だもんな」と自分で納得した。
114	男性	82	未だ早い。
242	男性	82	体の状態によりお受けする場合とお断りする場合がありますが疲労度の強い時は本当に有り難く感謝している
305	男性	83	譲られなくても嫌がらせのようなことは絶対にしないが、譲られたら必ず「ありがとう」と云って座らせてもらう。老人が席を譲られても座らず、譲った青年がバツの悪そうな顔をしているのを見て、座ってあげればいいのかと思うことが再三あるので。
836	男性	83	そんな高齢者に見えるのかなあと思う
650	男性	85	残念であった 一度辞退したが再度勧められたので着席したが、自分ではまだそこまで弱ってはいないと思っているので
822	男性	85	年寄りとみられることに悲哀をかんずる。 体調が良ければ遠慮することもある。
1132	男性	85	高齢者にみられるのだと思った。

次回 2014年版 「敬老の日」にあわせたシニアの意識調査

<Part2> 「敬老の日」のお祝いは何歳から?? 50歳を超えて今の「本音」は??
※近日中にリリース予定です。今しばらくお待ちください。

■リリースに関するお問い合わせ
株式会社シニアコム 担当：藤澤

TEL 03-3560-1854 FAX 03-3560-1816 E-mail sales@seniorcom.co.jp